

(13) 周辺中山間地域の活性化について

想定課題

国会等移転に伴う開発地域周辺の中山間地域は、豊かな自然に恵まれた地域であるが、地理的条件等から地域の活力が低下している地域でもある。このような地域の活性化対策はどうすべきか。

■ 対応方向

本県の中山間地域は、農林産物の供給はもとより、水源かん養や県土の保全など多様な役割を果たしていますが、一方では、農林業の低迷や地域活力の低下が見られ、地域の持つ多面的な機能の維持保全が困難になりつつあります。

国会等の移転に伴い、地域ならではの個性ある農産物・特産品や環境負荷が極めて少ない木材への需要増大が見込まれることから、これらの生産を核とし加工・流通も含めた産業化への取組などにより、地域おこしが図れるのではないかと考えます。

また、定住人口・交流人口が増加するとともに、地域資源を生かした直売所や観光農園等の整備、生涯教育のフィールドの提供、都市住民の余暇需要に対応したグリーンツーリズムの展開など、多彩な交流機会が創出されることにより、豊かな自然環境の保全に留意しながら、都市住民の自然や農山村に対するニーズを生かした地域活性化を図ることも可能と考えます。

『中山間地域の目指すべき展開方向』

【イメージ】 人の交流の盛んな魅力と活力のある山村

1 目指すべき展開方向

何度も訪れ、住みたくなる心安らぐ交流地域

- ・山村型都市交流活動の推進
- ・豊かな人生のための趣味の里づくり
- ・新たな山村生活システムづくり
- ・森林と農地を生かした地域環境の形成
- 個性ある特産物・特産品の開発・生産
- ・茶などの特産物の生産強化
- ・特産物を生かした6次産業化
- ・安全志向を徹底した有機農産物の生産
- ・地域内での循環系の確立
- ・上下流交流による林業の活性化
- ・森林、木材の多面的利活用の推進

2 地域の将来イメージ図



6 次産業

地域での話し合いをもとに、農産物の生産、加工、販売を一貫して事業化する取組
($1 \times 2 \times 3 = 6$ 次産業)